

## 青森県大会 競技種目 ミドルクラス演技要領 ver6

- \*パイロット開始位置 :ヘリパッド中央から風下側フラッグラインより後方5m以上で9m未満の任意の位置に立つ。①②終了後に移動する。
- \*機体開始位置 :ヘリパッド中央指定位置に出場者自身、もしくは助手が運搬して、機首方向を風上に向け置く。またはスタートサークルから飛行させ、ヘリパッド上に着陸させる。(移動時の高度は2m)  
飛行移動の場合、一度だけ、着地後に人の手で位置を修正してよい。
- \*エンジン始動 :場内スタートサークルで行い、直前の競技者の②両側面ホバリング終了までに合わせて始動し、待機しておく。(競技時間は約3分)  
始動失敗・エンジン再始動などで時間がかかると判断した場合はその旨本部に申告すること。  
(必要時は出場順繰り下げを行う。)

### <ミドル級競技全体の流れ>

- ①ホバリングM 離陸 → ホバリングM終了 → ホバリングしたまま②へ
- ②両側面ホバリング → 終了位置で ホバリング → 一旦着陸  
(パイロット位置移動)
- ③場周飛行:側面離陸 → 周回飛行 → 側面着陸

### <ミドル級競技詳細と要領>

- ①ホバリングM :離陸し、アイレベル高度まで垂直上昇し、2秒以上停止した後、  
右手前→右前方→左前方→左手前の順でフラッグ上を通過する。
  - ・各フラッグ上では2秒停止すること。左右開始方向は任意とする。
  - ・ヘリパッド中央に戻り、ホバリング停止すると演技終了となる。
  - ・コールはスタート&フィニッシュのみ。離陸、方向転換のタイミングは競技者自身の判断で行う。離陸から終了時停止までが採点対象となる。  
注)着陸せず、引き続き③両側面ホバリングを行う。
- ②両側面ホバリング:②終了のヘリパッド上でホバリングしたまま、機首方向を左に90°回転させ左側面ホバリングした後、右に180°回転させ右側面ホバリングし、その後機首を元の風上側に90°戻す。終了後着陸。
  - ・左右開始方向は任意である。
  - ・コールはスタート&フィニッシュのみ。回転・停止・復帰のタイミングは競技者自身の判断で行う。
  - ・それぞれの側面ホバリング状態については2秒停止すること。
  - ・ヘリパッド中央に戻り、ホバリング停止2秒の後、機首方向を風上に向けたまま着陸して演技終了となる。着陸までが採点対象となる。

- ③場周飛行:離陸後と着陸前にヘリパッド上アイレベルホバリング、及び正面通過時に距離20m以上の直線水平飛行を伴った、幅約40m、奥行き約20~30m、高度10~15m程度の方形場周飛行を行う。
- ・ コールはスタート&フィニッシュのみ。離陸から着陸までを競技者自身の判断で行う。
  - ・ 離陸と飛行全体(水平飛行含む)と着陸については個別の採点となる。
  - ・ 離陸と着陸はヘリパッド上の垂直上昇/下降であり、ホバリングは2秒停止すること。機首方向は風上で、側面離着陸・ホバリングである。
  - ・ 風上側の距離20m、高度10m以上に向かって30°程度の上昇角で前進する。
  - ・ いずれのターンも正確な角のある90°ターンでなくて良い。
  - ・ 奥側で高度を保ったまま旋回し、正面中央通過時に距離20m以上の水平飛行を行う。(この水平飛行をコールする必要は無く、行われぬ)
  - ・ 風下側で2度旋回し、ヘリパッドに戻ってくるが、この間に高度は10m以下に降下して高度調整して良い。また必ずしも奥側→手前の経路は直線部分を作らなくとも良い。
    - \* 対面飛行部分を安全に行えない競技者は、水平飛行終了からヘリパッド進入までを、側面または後退飛行による降下で置き換えてよい。  
(ただし、この方法では飛行全体項目における採点上満点は得られない。)
  - ・ 最終進入経路は少なくとも10mの直線を取り、30°以下の降下角で正面真横から進入する。
  - ・ 飛行全体の大きさと高度は機体サイズに合わせて適宜縮小して良い。
  - ・ 前進速度は全体に早すぎないこと。(アイドルアップパワーではないこと)
  - ・ 奥側の経路ではターン両端まで8秒程度の移動速度が目標値。
- 参考)これは、時速換算で18km程度、一般自転車(シティサイクル)の走行速度や人間がマラソンで走る速度に相当する。周回全般にこの速度以下で行う。
- ・ ホバリング停止後、ヘリパッドに着陸し、エンジンを停止して完了となる。
- ・ 競技終了後はローター停止後、速やかに後続競技者の為に機体を移動させ、動力電源および送受信機電源を忘れずに切ること。

以上